

ドン・ボスコの風

Joyful Communication !

SALESIAN
BULLETIN
JAPAN

January 2014

No.

12

特集
扶助者
聖マリア

Ciao! サレジオ家族探訪

星美学園

(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学)

時を超えて紡ぐショートストーリー

「お母さんですよ」

連載 インタビュー

DBの教え子たち

大熊理津子さん

山田耕民さん



新コーナー

もっとキミに伝え隊!!

今回の応援隊員

古木涼子 シスター



ハンガリーの若きサレジオ会修道士

ステファン・サンドル
列福



「マリアさま、さあ始めましょうか」

～ドン・ボスコの心、扶助者聖マリア大聖堂～

サレジオ会日本管区長

アルド・チプリアニ神父



Photo by Chihiro Okawa

1879年、ドン・ボスコはフランスを訪れ、開設されて間もないマルセイユのサレジオ会の施設に滞在しました。貧しい子どもたちの教育事業のために資金が必要でしたが、寄付を呼びかける手立てもなく、何も道が開けないように見えたとき、ドン・ボスコは聖母に語りかけました。「マリアさま、さあ始めましょうか。」ほどなくイタリア・アスティ出身の女性が、故郷で有名な司祭がマルセイユに来ていると聞きつけ、生まれつき足の不自由な息子を連れてドン・ボスコに会いに来ました。ドン・ボスコはその少年に扶助者聖マリアの祝福を与え、立って歩きなさいと励ましました。すると少年は立ち上がり、駆け出しました。聖なる司祭ドン・ボスコの評判は、瞬間間にフランス中に火のように燃え広がり、その後、フランスの人々を魅了したドン・ボスコはたくさんの支援を受けることとなりました。

ドン・ボスコの聖母への全面的信頼は、その出来事の10年以上前に献堂されたイタリア・トリノの扶助者聖マリア大聖堂に象徴されます。夢で示され、大聖堂の建立を聖母がお望みだと確信したドン・ボスコは、資金の^{めど}用途が全く立たない中、計画に取り掛かりました。ドン・ボスコは聖母の道具となって建設を推進しましたが、多くの民衆が、聖母の恵みに応えて支え、協力したのです。「大聖堂の煉瓦一つひとつが恵みへの感謝のしるし」だとドン・ボスコが述べたほど、日に日に恵みの報告は増え、お金持ちから貧しい人に至るまで、数多くの人がマリアさまへの愛を表すために犠牲を払いながら協力し、この見事な大聖堂は完成しました。

2015年のドン・ボスコ生誕200周年に向け、このマリアさまの大聖堂の、正面壁の修復のため、ドン・ボスコの後継者チャベス総長より献金呼びかけられています。*

教会も、人類社会も、多くの困難や危機の中にある現代、聖母は変わらず私たちと共にいて助けてくださる方です。ドン・ボスコのように、決して希望を失わず、信頼をこめて聖母に呼びかけたいと思います。「マリアさま、さあ始めましょうか!」

*本誌とじ込みの払込用紙にて、ご寄付を受け付けています。

2014年1月1日 神の母聖マリアの祭日に

Contents もくじ

3 Message ● 「マリアさま、さあ始めましょうか」～ドン・ボスコの心、扶助者聖マリア大聖堂～

4 特集・扶助者聖マリア

6 Essay ● 「ドン・ボスコと聖マリア」

8 ドン・ボスコゆかりの地を巡る ● トリノ 扶助者聖マリア大聖堂

10 Miracle story ● 「あの声は…」 語り手：アンドリュー・ウォン

11 Book Review ● 本のひととき

12 インタビュー ● ドン・ボスコの教え子たち

大熊理津子さん from 星美学園(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学)

山田耕民さん from サレジオ工業高等専門学校

16 世界のサレジオ家族ニュース

20 時を超えて紡ぐショートストーリー ● お母さんですよ

文：ノゾエ 征爾 絵：おむら まりこ

22 Ciao! サレジオ家族探訪 ● 星美学園(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学)

24 News ● ハンガリーの若きサレジオ会修道士 ステファン・サンドル列福

26 サレジアンが心を込めて贈るあなたへ応援メッセージ ● もっとキミに伝え隊!!

27 サレジアン小伝 ● ありがとう! 山口哲郎神父 サレジオ会員の誇りを胸に

28 Info ● お知らせ

31 読者プレゼント

「ドン・ボスコの風」について ―― 「ドン・ボスコの風」は、喜びを共にし、サレジオ家族の原点を見つめ、絆を深め、社会・世界に羽ばたいて、その実りを分かち合うためのコミュニケーション誌を目指しています。ドン・ボスコの精神を多くの方々と共有し、新しいつながりに広げていくきっかけとしてご活用いただければ幸いです。皆様からの情報提供とご支援をよろしくお願いいたします。



表紙の写真
星美学園(東京・赤羽)正門前の扶助者聖マリア像のもとに集まった、幼稚園から短大までの生徒と先生、サレジアン・シスターたち。賑やかな雰囲気が微笑みを誘う。

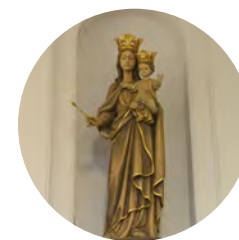


ドン・ボスコとは?
「青少年の友」と呼ばれ、見立てられた若者たちのために生涯を献げた神父。1815年イタリア生まれ、名前はヨハネ(イタリア語でジョヴァンニ。ドン・ボスコは「ボスコ神父」の意味)。青少年教育に献身するサレジオ会を創立。1888年帰天。

サレジオ家族とは?
ドン・ボスコの精神を受け継ぐ修道者・信徒・協力者たち。世界130以上の国で、30団体、40万人以上のメンバーが、学校、教会、社会生活のさまざまな場面で青少年や貧しい人びとのために奉仕している。サレジオンファミリーとも呼ばれる。

カトリックの学校や教会で必ず見かける聖マリアのご像。様々な姿で表されている中でも、ドン・ボスコは特に扶助者聖マリアの姿に親しみ、信頼し、祈っていた。「扶助者」にはどんな意味が込められているのだろうか。

取材・文・写真 ● 編集部



◀イエスのカリタス修道女会日本管区本部修道院（東京・杉並）の玄関にある扶助者聖マリアの、2m程ある大きな木彫のご像。イタリアのデメッツ社製。



「扶助者」の由来は？

その呼び方自体は4世紀から存在していたようだが、1571年のレバントの海戦の際に、時の教皇ピオ5世が「キリスト信者の助け手」の呼び名で保護を祈り求めたことから大きく広まったと言われる。



レバントの海戦

その姿に込められた意味は？

聖マリアの聖画やご像は様々な種類がある。

扶助者聖マリアの姿の特徴はどういうものか見てみよう。

冠

勝利者に与えられる栄誉の象徴である冠。マリアは被昇天（神によって天に上げられた）の後、救い主イエス・キリストによって冠を与えられ、天の元后と呼ばれる。子であるキリストの冠は王としての権威を示している。

幼子イエス

聖マリアが人々から特別に愛され、尊敬されるのは救い主イエスの母だから。子であるイエスが神であるゆえに聖マリアは「神の母」と呼ばれる。優しい母を通して子であるイエスに近づきたいという人々の願いが、聖画やご像に込められている。

笏

笏は力や支配権の象徴である。聖マリアは天の元后として権威を持つ方であることを表している。しかし聖マリアの力と権威は、神に近い者であることから来る。そして聖マリアの「力」は願いを取り次ぐ力である。

赤い服と青いマント

赤や青は聖マリアを象徴する色で、赤は神の慈愛、そして青は空*、すなわち天国＝信仰を表している。（※諸説あり）



無原罪の聖母



ルルドの聖母



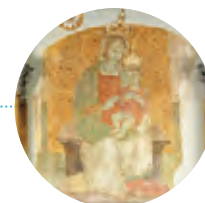
ファティマの聖母

その他の有名なマリア像は、「無原罪の聖母」、「ルルドの聖母」、「ファティマの聖母」などがある。

誰の「扶助者」なのか？

ドン・ボスコの時代に起きた2つの出来事。

ドン・ボスコが「扶助者」に助けを願ったのは？



スボレーの聖母

「扶助者」という呼び方は以前から存在したが、ドン・ボスコの生きた19世紀の二つの出来事を通してより大きな意味をもつものになった。一つ目は教皇ピオ7世が1815年（ドン・ボスコの生まれた年）にナポレオンによる幽閉から解放されたことを聖母に感謝して5月24日を扶助者聖マリアの記念日に指定したこと。もう一つは1862年に、イタリア中部のスボレーという町の古い教会の聖母像が5歳の少年に話しかけ、特別な奇跡や恵みが与えられたという出来事だった。その話は急速に広がり、大勢の巡礼者が詰めかけた様子を見て、時の教皇ピオ9世がその像に「扶助者聖マリア」の称号を与えたのだ。

実はスボレーはピオ9世がかつて司教を務めていた場所であり、まさにそこ、カトリック教会と国家の対立が強まり、教皇の力は弱められようとしていた時だった。この出来事は、聖母が困難にある教会を助けるという象徴としてとらえられた。

そしてピオ9世はドン・ボスコを理解し、サレジオ会を承認した教皇である。「困難にある教会を助ける聖母」と「苦しみにある青少年たちを助ける聖母」がドン・ボスコの中で一つになった称号がこの「扶助者聖マリア」だったのだ。

富士の聖母を知ってる？

河口湖から富士山五合目に向かう富士山有料道路「富士スバルライン」。その途中の2合目（海拔1,800m）に扶助者聖マリア像がひっそりと建っている。

今から50年ほど前の1963年8月24日、数名のサレジオ会司祭とサレジアン・シスターは、小さな聖母像を富士山五合目に安置した。それは第二次大戦中、50数名の子どもたちと共に山中湖畔に疎開し、戦禍を免れたことを聖母に感謝すると同時に、全世界の子どもたちの幸せと世界平和を願うためであった。

その後、1965年9月に聖マリア像建立の正式認可が厚生省からおり、同年10月7日に設置完了。高さ3m、重さ2.5トンもある大理石のイタリア製ご像である。後ろの壁には世界平和の記念として各国から集められた石がはめ込まれている。



「すべての危険において聖母のお助けを願いなさい。
必ず聞き入れられることを私は保証します」

ドン・ボスコのことは



「ドン・ボスコの夢に現れた聖母」

Essay

「ドン・ボスコと聖母マリア」

文 ● 浦田慎二郎

聖母が大好きなドン・ボスコ

多くの聖人がそうであるように、ドン・ボスコも聖母マリアを特別に大切にした人として知られています。単純に「ドン・ボスコは聖母マリアのことが大好きだった」と言っても問題は無いでしょう。それほどドン・ボスコは聖母マリアに信頼し、自分の事業の先頭に立っているのは聖母だ、という意識がいつでもありました。もちろん、彼は聖母を神（そしてイエス）と同列に置いているわけではないのですが。

幼少期に学んだこと

ドン・ボスコのこの聖母への信心はどこから生まれたのでしょうか。おそらくそれは彼の幼少期の体験から出発しています。ドン・ボスコが自分の半生を振り返って書き残した「オラト

リオ回想録（ドン・ボスコ自叙伝）」を見てみましょう。幼い時にお父さんをなくしたドン・ボスコにとって、母の教えはとても大切なものでした。

「わたしがまだほんの子どもだったころ、祈りを教えてくれたのは母自身でした。兄たちの仲間入りができるようにになるとすぐ、朝夕、母はわたしを兄たちといっしょにひざまずかせました。わたしたちはこうやって祈りやロザリオの一環をみなで唱えていたのです」。

その祈りの中には、聖母への「お告げの祈り」も含まれていました。有名な「9歳の夢」の中で、イエスと思われる人物に幼いジョヴァンニ（ボスコ）は質問します。「いったいどんなさまですか？」それに対し、その人物はこう答えるのです。「日に三度あの婦人にあいさつするよう君はお母さんから教わっているだろう。わたしは

その婦人の息子なのだ」。もちろん、この「日に三度あの婦人にあいさつする」とは、「お告げの祈り」のことです。さらに夢の中で、このイエスらしい人物はジョヴァンニに、「君に女の先生をつけてあげよう」と言い、「けだかい姿の女の人」を彼の「先生」として紹介するのです。この女の先生が聖母マリアであることは明白です。

こういった小さいころからの教えと体験から出発して、ドン・ボスコは聖母への特別な意識を少しずつ育んでいきます。

サレジオ会の「創立者」聖母

司祭になつて、貧しい子どもたちのためのオラトリオを始め、サレジオ会と扶助者聖母会（サレジオ・シスターズ）を創立した後、ドン・ボスコはこう言っていました。「おとめマリアこそが創立者であり、私たちの事業の支えなのです」。彼の中で、自分が皆を導いた、というよりも、聖母こそが自分たちを導いてくれた方である、という強い意識がありました。サレジオ会の事業は聖母が先頭に立って始まり、進んでいくものなのです。

私たちに与った「母親」

ドン・ボスコはいつも、「私の学校に

入ってくる子どもたちの一人ひとり

は、必ずマリアさまのお導きによつて学校に入ってきているのですよ！」と言っていました。ドン・ボスコの教育理念を受け継ぐサレジオ家族の学校・教会・施設に入る人は皆、聖マリアの導きで周囲の人や人生の様々な学びに出会っているということです。

ドン・ボスコは「マリアさまは、私たちが困難にあつたとき、道を見失わずに神に向かつて歩んでいけるよう助けてくださる方（扶助者）だから、『扶助者聖マリア、私たちのためにお祈りください！』と祈るように」と皆に勧めていました。

扶助者聖マリアに信頼して祈ることとは、私たちが「母親」に見守られている安心感を素直に受け入れることになるのです。



聖母に祈るドン・ボスコ
1880年 トリノにて



浦田慎二郎 うらた しんじろう
サレジオ会司祭。サイテック館長。
ドン・ボスコの研究家。



聖堂内の「扶助者聖マリア」像。聖母月（5月）のみ装飾展示される



荒波の中を進むドン・ボスコと青少年たちの絵



1868年建設当初の大聖堂



正面の祭壇上にある「扶助者聖マリア」の絵。ロレンツォーネ作



聖堂内。奥に「扶助者聖マリア」の絵が見える



二つのクーポラ（丸天井）のうち一つが見える。正面上に「Maria Auxilium christianorum ora pro nobis」の金色の文字が見える。1934年に本祭壇とその上のもう一つクーポラ（丸天井）、元のクーポラ両側の部分が増築。内部は大理石で飾られて現在に至る



ドン・ボスコゆかりの地を巡る

トリノ — 扶助者聖マリアを支えとするサレジオ会を中心地 — 扶助者聖マリア大聖堂

★イタリア北部ピエモンテ州 トリノ ★

文 ● ガエタノ・コンプリ Gaetano Compri
サレジオ会司祭 チマツァイ資料館館長

教会にとつての困難な時代

今、ヨーロッパでは教会離れの現象が起こっている。フランス、オランダ、イギリスなどで教会に通う信者は少数であり、教会の教えに反する法律が制定されている。この現象の根はフランス革命にまでさかのぼる。当時、多くの聖職者が殺され、修道院が閉鎖された。次いでナポレオンは、教皇ピオ7世をフランスに連行、幽閉した。また、教会が設立した大学、教育施設を国有化し、修道院を没収した。この運動はイタリアにも広まった。理由の一つは、イタリア統一運動の妨げとなっていた教皇領土の存在であった。その中心は、ドン・ボスコが住んでいたピエモンテ・サルディニア王国の首都トリノにあった。1861年に教皇領の大部分がイタリアに統合され、1870年、イタリア軍がローマに侵攻した。

扶助者聖マリアに献げる大聖堂

そんな時代の流れの中、ドン・ボスコは教会と青少年のために、聖マリアの特別な保護が必要だと判断し、トリノに扶助者聖マリアに献げられた聖堂を建てることを計画した。ドン・ボスコは1844年にこの聖堂に関する預言的な夢を見ている。「羊飼いの身なりをした貴婦人（聖マリア）」が、ドン・ボスコと子どもたちを導き、ある場所を指し示す。すると、「高くそびえたつ立派な聖堂が目に映りました。オーケストラの調べと、楽器や歌声による調べが、歌ミサを捧げるようわたしを促すのでした。その聖堂の内部には白い垂幕（たれまく）がさがっており、大きな文字で「Hic Domus mea, inde Gloria mea（これこそわたしの家。この家からわたしの栄光が生まれる）」と書かれていました」（「ドン・ボスコ自叙伝」より）。

大聖堂の設計と実現

設計を準備したドン・ボスコは、承認を得るためにそれをトリノ市の役所に提出した。「名称は何にしますか」と聞かれて、「扶助者聖マリアの聖堂」と答えた。当時の王国の政治に対する教会からの挑戦だと感じた担当者が「古めかしい名称だ。替えたほうがよい」と言うと、ドン・ボスコは「まず、設計を承認してください。名称は私が考えましょう」と言つて、そのままにしておいた。工事を始めた時、ドン・ボスコの手元には資金が無かったが、「み摂理に信頼して」度重なる苦難を乗り越え、1868年6月9日に無事、献堂された。

混迷の時代の支え

この大聖堂建設の後にも、ドン・ボスコとサレジオ会会員は休むことなく、扶助者聖母会（サレジオン・シスターズ）の創立、宣教師の派遣など次々に必要とされる取り組みを実現していく。その事業のすべてに扶助者聖マリアの信心が息づき、今やその信心は世界中に広まっている。ドン・ボスコとサレジオ会は、混迷の時代に置き去りにされた貧しい青少年たちのために、そして教会のために、扶助者聖マリアの庇護（ひご）の下、その事業を広げていったのである。

それは1999年9月初め頃のことでした。東ティモールの首都デビリで活動していた私たちは、独立を宣言する国民とインドネシア軍との間で起こった激しい内戦に巻き込まれていました。サレジオ会員はフィリピン人の神父3人と、私の秘書の、叙階されたばかりのティモール人神父一人でした。運営する学校には、戦乱で行き場をなくした2万人の避難民を受け入れていました。

ある朝、友人のインドネシア人兵士が忠告してくれました。「軍上層部の決定で、今晚、軍で最も残忍な部隊がこの学校を襲撃します。」このとき、私たちに抵抗する術のないことは明らかでした。私たちは段取りを相談しました。「兵士たちが来たら、私たち神父が門へ行き交渉する。ほかの人々は離れたところで折り続け、私たちが撃たれたり倒れたりしたら、急いで学校の壁を乗り越えて裏山へ逃げる。」山には東ティモールのゲリラが潜んでいて、兵士たちは山に入りたがらないのです。こうして私たちは、壁を越えるためのしご作りに追われました。皆、不安と悲しみに沈んでいました。そんな状況の中でも皆が「神父さまたちと一緒に、皆一つでいたい」と願っていたことに心を打たれました。

夕方、院長が皆を集めて一緒に祈り、全員に罪のゆるしを与えました。思い思いに食卓についたものの食事は喉を通りませんでした。「きくと神さまが計らってくださるさ」と言う人もいましたが、私は「もう終わりだ」と思っていました。

その夜、私ともう一人の神父が見張りに立っていました。近くのウルスラのインドネシア人シスターたちの修道院は静まり返っていました。すると突然、500メートルほど向こうの道路から、門へ向かってトラックの走ってくる音が聞こえました。停まったトラックから大勢が飛び降り、息を殺して走ってくるのが聞こえました。周囲は、インドネシア人の家を除きすべての家が焼き打ちにされていて、真っ暗でした。いきなり機関銃が発射され、私たち2人はその場に倒れてしまいました。撃たれたかと思いましたが、出血はしておらず、門の鉄扉に弾が当たった衝撃で倒れたようでした。手榴弾が投げ込まれて私の頭のすぐ横に落ちましたが、爆発しませんでした。何もできないまま私たちが倒れているのを見て、皆はパニックに陥り、泣き出す人もいました。

突然、誰かがインドネシア語でこ

ういうのが聞こえました。「チュク、チュク、プラム、プラム、サチャン！（もうたくさん、たくさんです、皆、帰りなさい）」それは女性の声でした。私はインドネシア語がわかるので、今もはっきりおぼえています。すると、発砲が止み、大勢が足早に立ち去るのが聞こえました。やがてトラックも引き上げて行きました。私たち2人は倒れたままで顔を見合わせました。

しばらく静寂の時間が流れてから、私たちは話しました。「ウルスラのシスターたちがやめるよう言ってくれたのだ。神に感謝！ でなければ今頃私たちは皆殺しだった。」私は今すぐシスターたちにお礼を言いに行こうとしたが、院長は「今は休もう」と言いました。皆、疲れきっていたからです。

朝、明るくなって門を開けてみると、門には夕べの発砲の時の弾が食い込んでいました。私たちはウルスラ会の修道院へ行き、院長シスターに言いました。「夕べは私たちを救ってくださいありがとうございます。」すると、院長シスターは言いました。「いいえ、私たちではありません、神父さま。私たちも『あの声』を聞きました。女性の声でした。私たちは怖くて

部屋に隠れていたのです。」私たちは互いに顔を見合わせました。「あれはマリアさまの声だったのだ。」私たちは学校に戻って皆にこのことを伝えました。

私はマリアさまを心から愛していますし、マリアさまが私を愛してくださることも知っています。毎月24日には扶助者聖マリアを記念し信心を広めることを、マリアさまに約束しました。その後、私たちの学校は焼かれ、私たちは難民になりましたが、誰一人命を落としませんでした。この体験は私にとって大きな恵み、神さまからのメッセージです。

アンドリュー・ウォン Andrew Wong

サレジオ会司祭。東アジア・オセアニア地域顧問。1952年生まれ。サレジオ会フィリピン北管区会員として1972年初誓願、1979年司祭叙階。院長、修練長などを歴任、1998-2004年、インドネシア・ティモール管区長、2005-2008年、フィリピン北管区長。タガログ語、英語、インドネシア語、テトゥン語（東ティモール）、イタリア語を話す。



（田中直美評）

本

書の中で紹介されている絵本のうち、いくつかを手にとってみましたが、涙せずにはいられないものばかりでした。心の中の汚いものが全部、涙と一緒に流れ出る感じがしました。子どもは絵を見ながら、大人が読んでくれることばに耳を傾けます。大人は書かれている文字に「魂」を込めて、「言葉」ことだま」にして子ども心に届けます。大人のあなたも絵本を声にだして読めば、作者からのメッセージが届くことでしょう。本書が気になる方は、こちらもお薦めです。『砂漠で見つけた一冊の絵本』柳田邦男 2004年 岩波書店。



柳田邦男 2006年 平凡社
224頁 1470円

大人が絵本に涙するとき

フランススコ・サレジオと共に歩む神への道のり



浦田慎二郎 2013年 ドン・ボスコ新書
237頁 735円

宗教改革の時代に司牧者として活躍した聖フランススコ・サレジオ。彼は柔和の聖人としても知られています。ドン・ボスコにも影響を与えたサレジオが、一般社会に生きる人々に向けて著した『信心生活の入門』。この中の日常で神に近づくためのポイントをサレジオ会司祭である浦田師が優しく解説してくれています。それぞれの項に黙想のヒントもあり、黙想の手引きにも使えます。「神への道のり」なんて聞くと、「そんな恐れ多い」なんて思ってしまうですが、この本を読めば、凝った肩をほぐすように、心を軽くして神さまへと向けてくれます。

（編集部評）

著

者の温かな「まなざし」に共感して、1、2巻と愛読してきましたが、この3巻目が出たとき、「完」という言葉に一瞬どきりしました。40年以上、児童精神科医として子どもたちに寄り添っていた著者の生涯のまとめとしての思いがたたく詰まっています。4章以降では、発達障害を抱える子どもたちとご家族、保育・教育の現場の先生たちに注がれる「まなざし」に心がほぐれます。キリスト者としての生きざまの反映なのでしょう。子育てや保育・教育で悩んでいる人や、すべての人と「共に生きたい」と望む人にぜひ読んで欲しい一冊です。

（田中直美評）



佐々木正美 2011年 福音館書店
376頁 1890円

完 子どもへのまなざし

せかいで いちばん おおきなもの



ケネス・ステイブン文
メラニー・ミツチエル絵
なかだくみこ訳
2012年 ドン・ボスコ社
32頁 987円

「いさなこぐまは、おかあさんと一緒に世界でいちばん大きなものを探して、動物たちや高い山、くらなどつきつぎに大きなものに出会います。でもいちばん大きなものは…」あなたのことが、だいすき、つておもうおかあさんの「まなざし」子どもに「世界でいちばん大好き」を伝える、愛にあふれたかわいい絵本です。そして子育てのなかでいろいろ悩んだり迷ったりしているおかあさんが、愛された自分を思い出しながら、子どもへの自分の愛情を確認する絵本でもあります。

（関谷義樹評）

DBの

★ 教え子たち ★

マリンバは木製音板を持つ鍵盤打楽器のひとつ。木の柔らかい音色が特徴であり、同時に打楽器ゆえの激しさをもあわせ持つ。星美学園小中高OGで、2005年世界マリンバコンチェルトコンペティション優勝の大熊理津子さんに話を聞いた。

★★★★★

— マリンバを始めたきっかけは？ —

幼稚園のとき小さな卓上木琴が大好きで、覚えていないのですが、どうも6歳の私が両親にお願いをし

たらしいんです。「叩いて音が出る木琴のお稽古がしたい」と。両親が調べたら、家から3つの駅近くにたまたまマリンバの教室があつて、そこに通い始めたのがきっかけです。木琴のゴロゴロした音色と、共鳴パイプに響く低い音の余韻。そういう倍音、共鳴、共振が心地よかつたのでしようね。あとは純粹に操作するのが楽しかったのだと思います。

ただ、勉強が忙しくなってくる高校1年生の終わりにレッスンを一度やめました。でも1年経たないうちにやはりマリンバがしたい、そうだ音楽大学に行こうと。マリンバを弾いてい

るときの自分が一番好きだったんですね。音大に入ってもっと上手にならなければと思って努力しました。2005年スロベニアで開催された世界コンクールで優勝したときに、音楽家としてやっていくぞという覚悟が決まったといつていいかもしれません。今、こうして演奏することできる人とは濃密な時間と空間を共有できるというのは幸せなことだなと思います。

— 星美での思い出は？ —

楽しかったですね。人並みな反抗



小柄だが、とてもエネルギーが溢れる。マリンバを弾きはじめると、周りを圧倒するような存在感で聴く人を惹きつける

マリンバ奏者・打楽器奏者
No. 13 おおくま りつこ 大熊 理津子 さん

★ サレジオ歴 ★ 星美学園小学校・中学校・高等学校

プロフィール

1978年生まれ。星美学園高等学校を卒業後、桐朋学園大学にて世界的マリンバ奏者・安倍圭子氏、ドイツベルリンオペラ元副首席打楽器奏者・佐野恭一氏に師事。同大学研究科及びオーケストラアカデミー修了。国内外多数のコンクール入賞を経て2005年世界マリンバコンチェルトコンペティション優勝。現在はソロ活動に加え、オーケストラ、室内楽、映画音楽、レコーディング等精力的に活動する傍ら、母校の音楽科講師を務め、後進の指導にあたる。リリースCD「全速力ウーマン」(2009)、「Gold'n Bear」(2011)など。公式ホームページ <http://ritzzy.biz/>

期はありましたけど(笑)。

校長の大横シスターが、朝礼で「アイデンティティ」という言葉をよく口になさっていたのを思い出します。中学生のときはどんな意味かわからず過ぎましたが、高校2年のとき、自分をどう確立するかが結局は個人の幸せのもとになっていて、それが揺るがないものでないと周りも幸せにできないということがなんとなく見えてきました。

カトリックの学校ですから、自己犠牲や隣人愛の大切さはずっと教えられてきましたが、そうすると自分が幸せになつてはダメなんじゃないかという葛藤がありました。私の好きな「音楽」をやつていいのかと。迷っているときにきっかけの言葉をかけてくれたのは星美の学校の友だちでした。「りつちゃん弾いて幸せ。私たちが聞いて幸せ。だからそれでいいじゃない」と。そうか、私のアイデンティティの中に音楽もあったんだ

と。吹っ切れたときに音楽の道を選べたのです。そこにたどり着けたのは嬉しかったです。

— 仕事、音楽で

自分に課していることは？ —

こなし仕事をしない。特に演奏は。準備をしなくても弾けるレパートリーはたくさんありますが、私が「こなす」という言葉を使えしなれば、自分のなかにきちんとした意識が芽生えます(もちろん準備や練習は一所懸命します。笑)。

大ホールでソロを弾くのと、小さな公民館で弾くのと、込める思いが違つてはいけないと思います。どんな場所でも、私の演奏を聴いている人の中の一人でも、「マリンバが好き」とか「音楽って気持ちがいいものなんだ」と感じる人がいたらいい。私は明日死んでもいいというつもりです。技術は既にたくさん練習して身につけてきましたが、最後に「大熊

理津子」という人間性が出るのであれば、いつも全身全霊でなければ、と思っています。

— 後輩へのメッセージを。 —

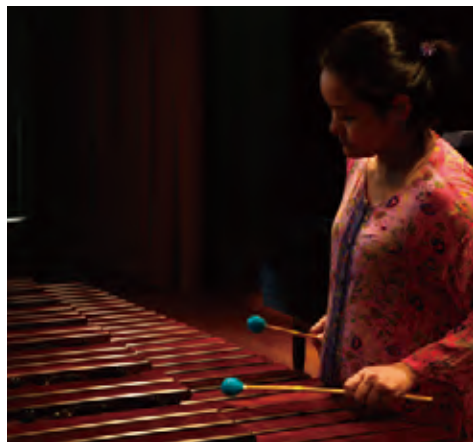
「いつか必ずわかるから頑張つて生きてほしい」。悩みとかはたくさんあると思います。けれどいつか必ずわかってきます。自分からわかることもあるし、周りの人の自分に対する愛情にも気づいていろんなことがわかってくるはずですよ。

そして「がむしやらであれ」。今の子はハードルが低く、この辺までできていけばもういいやと考えているようです。もう少し負けず嫌いでもいいのではないですか。負の感情でも昇華すればプラスになります。絶対あいつよりうまくなつてやるとか、「コンチクショー」という気持ちが勉強とか練習の根本にあると絶対頑張れます。

あとは「好きなことを大切にしてい



マレットと呼ばれるマリンバの杵。ゴムにかぶせる素材の違いで、音色が変わる



最大6本のマレットを巧みに操り、豊かな和音が響く。幅2メートル以上あるマリンバが小さく見えた



左は2009年リリースのファーストアルバム「全速力ウーマン」。オリジナルを含む全8曲を収録。様々な表情を見せるマリンバの魅力が満載。
右は2011年リリースのマリンバデュオアルバム「Gold'n Bear」。

「好きなことを大切に
そして、がむしやらであれ。」



星美学園小学校・中学校・高等学校

東京都北区赤羽台4-2-14

www.seibi.ac.jp

「自分を信じること。 それから、心に響くことを大切にする。」

モチーフは必ずどこか自然の中にあります。包丁の「グローバル」(1983年に吉田金属工業株式会社が製造・発売した世界初のステンレス製一体構造包丁)だって、私自身も後で気付いたんですが、



これって魚の形じゃないかって。自然にある物はどんなに異形であつても生きていくのに都合のいい形になっていきます。そういう意味では、大自然が一つのパターン作りをしているわけなんです。それが自然の偉大さである。そう考えると、自分なりのオリジナルの形を作ろうというのは傲慢な考え方で、人間の作るものなんて非常に小さなものだと思います。



左奥が「GLOBAL」最新モデル。隣の白いのはその試作木製モデル。右の2つの白いケトルは野田琺瑯製。一番手前の2つの鍋は新潟県燕市のメーカーとの共同ブランド「シャラクモノ」。使い勝手がそのまま形になったかのよう

— 仕事をする上で大切にしていることは? —
一つだけ鉄則があるんですよ。自分に響かなければその仕事はやりません。自分の天職は作ることだと思いますが、僕はなかなか仕事を始めません。なぜなら作るという行為はとても根源的でつらいことですから、いいアイデアが出るまで絶対作らない。わかるんですよ、感性で。焦点が絞られて、無駄なものが省かれていくんです。描いているうちに「あ、これだな」って。それから始めます。技術というのは努力次第で人格的に良からうが悪からうが、ある程度到達できるものだと思います。けれども感性はもともと悪ければ磨いても伸びません。デザインの世界は99%は努力だけど、最後の1%は六感(計り知れないものを感じる力)だと思います。その六感みたいなものが働かないといいものが出てきません。六感を満足させるようなものは、いいデザインになっています。
ただ物が売れたりヒットしたりするのは、多分はその人の才能もあるけど、それまで培った人間関係から回ってくるチャンスに巡り合うということかもしれません。僕はデザインでも人間関係でも、耕作した部分しか実らないと思っています。人間関係がなかったら人を耕すということですが、耕した分だけその本人が



サレジオ工業高等専門学校
東京都町田市小山ヶ丘 4-6-8
www.salesio-sp.ac.jp

— 若い世代へのメッセージを —
自分を信じることを、それから心に響くことを大切にする。何かかっこいいと思つたら、それはなぜか、なぜ心に響くのかを突き詰める。実は単純なものほど、それは仕上げだったり考え方だったりします。
デザインをする人に言いたいのは、「作る」ということが前提にならなければ、デザインは出発しないということ。表面的なことをデザインするのではなく、「作る」ことを真剣に考え、「作る」ことに責任を負っている、というふうに思います。
★

DBの ★ 教え子たち ★

「六感に響くいいアイデアが出てこなければ絶対に始めない」。世界で愛されている包丁、「グローバル」(吉田金属工業株式会社)などをデザインした日本を代表するプロダクトデザイナー・山田耕民さんに話を伺った。

★★★★★

— いつから、デザインに興味があつたのですか? —

昔は遊び道具が少なかったんで、小さい頃から兄の真似をしてナイフ一本で工作していました。それに父がプリンス自動車(1966年に日産自

動車と合併)に勤めていたので、物を作るということに関心はありましたね。それでいつかは車のデザイナーになりたいなと思っていました。

— どんな学生でしたか? —

どちらかって言ったら悪いほう。うちはそんなに裕福でなかったから、しよつちゅう隠れてバイトしてましたね。学校を休んで家で看板を作っていたことがあるんです。そしたらヘンドリックス神父が、英語の坂口先生と一緒に訪ねてきてね。ばれたかもしれないなあつて。もう時効だからいいか(笑)。
ヘンドリックス神父の思い出として

は、彼は芸術、技術、文化、宗教に対してとても偏見の少ない人で、僕みたいな無宗教な学生も温かく見守ってくれました。僕はいわゆる優秀な学生ではなかったのですが、彼は僕の感性を非常に大切にしてくれたし、客観的に見てくれました。そういうことで僕は千葉大学に推薦され、その工房助手をしました。その縁で大日本印刷でパッケージをかなり勉強し、大日本印刷の関係で新潟での雑貨のデザインの仕事を始めました。

— どんなことを考えながらデザインされていますか? —

雑貨のデザインの世界というのは、完全にオリジナリティのあるものはないかなかなか作れません。自分が感激するようなデザインを見て、何がいんだろうとつき詰めていくと、使いやすさだったりシンプルだったりするんです。スプーンでいえば、持ちやすさ、口にいれるときの角度。それから置いたときに形がきれいかどうか。
そして最初にあるのは、どんなものが欲しいかということ。まず自分が欲しいかどうか。でも逆に個人的に自分が好きというだけでなく、こういうのがあってもいいはずだということを大切にしています。
それから、自分が物を作るときに

無骨な風貌と朴訥な姿の中に穏やかさと優しさを感じさせる。紙にイメージをスケッチしながら話すのが印象的だった

プロダクト・デザイナー
★ No. 14 ★ やまだ こう 山田 耕民 さん

★ サレジオ歴 ★ サレジオ工業高等専門学校 (旧育英工業高等専門学校)

プロフィール

1947年東京都生まれ。育英工業高等専門学校(現サレジオ高専)工業意匠学科卒業。故ヘンドリックス神父の紹介により、千葉大学工業意匠学科意匠科に助手として入職し、デザインコンセプト・モデリング等を学ぶ。1983年発表の「グローバル」は世界的に評価され、今も世界で愛され続けている。
【デザインした主な製品】[野田琺瑯] カマド、ノマク、[吉田金属工業] グローバル、[ローゼンダール] ツール、[KOMIN] ケトル、ナベ、フライパン、イモノ、[モリイ] 炭器 スミキ、[シャラクモノ] カトラリー、ミキシングボール、[ST化学] 芳香剤 他
【受賞歴】日本グッドデザイン賞、ロングライフデザイン賞 他



ブラジル

ニテロイ社会スポーツ学校、
サッカーのスター選手を迎え開校

リオデジャネイロに近いニテロイ市のサレジオ会ユースセンターは2013年7月6日、スベイン・マドリードのサレジオ宣教事務局とレアル・マドリード基金によってブラジルに開設された社会スポーツ学校の開校式を主催した。同校は、町の最も貧しい地区の約200人の子どもと10代から上の若者たちのために開設された。

開校式に参加した200人の子どもと若者たちにとって大きな驚



スーパースターの登場に喜ぶニテロイの子どもたち



開校式の様子



ニテロイのユースセンターの子どもたちとマルセロ選手

分たちの先祖が多くの苦しみや迫害の中で信仰を守ってきたおかげで今の自分たちがあるということに気付いた。苦しみの中でもキリストの愛に踏みとどまるよう若者たちは勇気づけられた。

夕食の後、ギリシャ・メルカイト派ジャンバル大司教と大勢の司祭の共同司式によるミサが行われ、大司教は教皇フランシスコが繰り返しているメッセージを語った。「何ものにも、あなたの希望を盗み取られてはなりません！」ミサ後、若者たち自身の用意したさまざまなゲームを楽しみ、聖テレジア聖歌隊の合唱に耳を傾け、洗礼の約束の更新、聖母の汚れなきみ心への奉獻をもって、喜びに包まれ安らかに一日は終わった。

マラヤティ大司教は「これほど多くの若者が恐れずに平和を証しするのを見て、驚きました。これは神様からの贈りものです。困難の中で若者たちは、自分たちを救うものは何であるかに目覚め、一人ひとりにイエスのいつくしみを感じています。多くの若者が祈りと兄弟姉妹への奉仕のうちに自分を主に捧げたいと考えはじめています」と、感動しつつ、語った。

メキシコ

サレジオ会員、無罪判決！
4年ぶりに釈放



解放されたホセ神父

サレジオ会メキシコ・グアダハラハラ管区のホセ・カルロス・コント・レラス神父が、2013年8月21日にメキシコ最高裁判所の無罪判決を受け、4年ぶりに自由の身となった。

ホセ神父はサン・ルイス・ポトシのサレジオ学院の小学校長を務めていた当時、同学院の女子生徒殺害容疑で逮捕されたが、不当な裁判手続き・審理にもくじけず、サレジオ会共同体と多くの支援者に支えられた。

22日、ホセ神父は、両親、サレジオ会員をはじめ、生徒や教職員、協力者など2000人が集ったミサを司式、会場は喜びと熱意に包まれた。逮捕が聖母の祝日、解放も天の元日の祝日であり、ホセ神父は聖母の特別なご加護を感じ、感謝した。「命は神からの贈りものです。これほど多くの子ども、若者が信仰を生きている姿を見て、神

きたったのは、レアル・マドリード所属のブラジル代表で、最近、コンフェデレーション・カップでも優勝したマルセロ・ヴィエイラ・ダ・シルバ2世が参加し、証しをしてくれたこと。

マルセロが来ることを知らなかった子どもたちは興奮からひとまず落ち着くと、カポエイラやマクレシなどの武術やダンスを披露、拍手を浴びた。

マルセロはいつものように笑顔で愛想よくサインや記念写真に応じ、子どもたちと一緒にダンスをし、パーカッション楽器を演奏したり、サッカーに興じたりした。同校は「平和のためのスポーツ」学校と命名された。

ニテロイ社会スポーツ学校プロジェクトは、授業時間外に子どもたちがサッカーをできるようにする。レアルマドリード基金の「サッカーを楽しむ、教育する」プログラムの資格を持つコーチが指導する。200人の子どもたちは、勉強と食事の支援、定期的な健康診断、家庭や心理的な面の支援を受け、体操、工芸、カポエイラ、読書、社会教育などさまざまな社会的・教育的ワークショップ、また、健康、衛生、道德教育、アルコール・タバコ・麻薬予防などさまざまなテーマの養成プログラムに参加することができるとのこと。

を讀みます。」ホセ神父は、いちばんの被害者であるイツァチエル・ゴンザレスさんをミサの中で特別に思い出し、祈った。ムルグイア管区長は支えてくれた多くの人々、特にカトリック弁護士会に感謝し、犯人が見つかり、法の下に裁かれることを願っていると語った。サレジオ会のチャーベス総長はメッセージを送り、「聖母からの最高の贈りものです」と喜びを伝えた。

レバノン

ドン・ボスコ聖遺物、
レバノンへ
平和と希望の巡礼者

隣国シリアの内戦を逃れて多くの難民が流入するなか、平和と希望の巡礼者がレバノンを訪れた。2013年8月31日、世界の5大陸を巡ってきたドン・ボスコ聖遺物は大きな喜びのうちにレバノンのキリスト者共同体に迎えられた。「ドン・ボスコを迎えることは、私たちサレジオ家族だけでなく、すべての人にとって大きな出来事です」。レバノンのサレジオ会共同体院長カルミ・サマーン神父は語った。

ドン・ボスコが到着すると国民の間に安堵感が広がり、ドン・ボスコの友人たちは危険を顧みず、各地から、シリアからさえも崇敬を捧げに來た。地元メディアも関心を

シリア

アレppoのWYD

2013年7月28日、リオデジャネイロの世界青年の日大会（WYD）に合わせ、戦禍に見舞われたシリアのアレppoでもWYDが開かれ、850人の若者がサレジオ会の支部に集った。若者たちは全世界の若者と一致し、困難や恐れを乗り越え、教会と社会に希望をもたらしたいと望んだ。

集いはリオ大会の祈りで始まり、ペトロの召命の福音朗読に耳を傾け、マラヤティ大司教やサレジオ会中東管区の青少年司牧担当シモン・ザカリアン神父をはじめとする講師たちがキリストの弟子、証し人になる、というテーマを深めた。若者たちは体験している恐れや心配について語り合い、その中で、自



アレppoの街とWYD in リオの公式ロゴマーク

寄せ、ドン・ボスコと聖遺物巡礼を紹介した。

エル・フッソーンのサレジオ会会員の家から出発した聖遺物は、レバノン山や北部の村々では米やバラの花を投げかけられ、ランタンや松明をともして迎えられた。エフデン、カハレの町を回り、9月7日から8日にかけて、ハリツサの「レバノンの聖母大聖堂」へ、サレジオの雰囲気満ちた若者との集いの後、マロン派大主教ベシヤラ・ライ枢機卿司式による荘厳な祝いが執り行われ、その後の夕の祈りは、ローマのサン・ピエトロ広場のフランシスコ教皇との平和と希望の祈りに心を合わせた。9日にはフィタルにおいて、レバノンで最も崇敬を集める聖人の一人、聖シヤールにささげられた教会で、信徒の崇敬を受けた。隠遁者として祈りに生涯をささげた聖人と、若者に仕えて活動の生涯をささげた聖人がこ



レバノンの聖母大聖堂での祝いの様子



こに出会った。サレジオ会をはじめ、サレジアン・シスターズやサレジアニ・コオペラトリーのサレジオ家族だけでなく、ほかの多くのグループの人たちが会場や典礼を美しく整える準備に参加し、聖人・教育者ドン・ボスコと出会った。

「ドン・ボスコはシリアの危機が最も高まったときに平和と希望の巡礼者として私たちを訪れ、希望の光を残していつてくれました」とサマーン神父は感動のうちに述べた。

その後、ドン・ボスコの巡礼はイスラエル、聖地へと続いた。

シリア

サレジオ家族、最も助けを必要とする人々とともに

現在も内戦が続くシリアのサレジオ会とサレジアン・シスターズは、最も助けを必要とする人々、そして、悲惨な状況に直面する多くの若者のために尽力し続けている。

サレジアン・シスターズは首都ダマスコでイタリア病院を運営している。2013年11月8日現在までのこの2年、砲撃や自動車爆弾で負傷した人々が運び込まれ、無料で治療してきた。「多いときは日に30人負傷者を受け入れました。廊下にもベッドを並べ、医師、看護師、シスターたち皆で世話にあたっていた

ます」と院長シスター・アナマリヤ・スカルセツラは語った。病院はエジプト学者スキアツパレツリによって創立、激動の歴史をくぐりぬけ、2013年に100周年を迎えている。不安な情勢が続く中、人々の拠りどころになっている。

近くのサレジオ会のオラトリオと学校では、200人の児童と300人の青年たちが通う。困窮する家庭への食料配布、心の支え、教育支援、職業訓練を行っている。ベネズエラ出身の宣教師アレハンドロ・レオン神父は「宗派にかかわらず子どもたちを受け入れていきます」と語る。「観光産業や大使館に勤めていた家庭の大黒柱は内戦の影響で職を失いました。それに日常的な危険。子どもたちの多くは郊外の労働者階級の町に住んでいます。移送のバスを出すかどうか、毎日判断しなければなりません。一度は、子どもたちを乗せ



シリアの子どもたち

スカレートし、首都バンギのサレジオ会の2つの支部、ガラバジャとダマラは合わせて2万人の避難民を受け入れた。中には負傷者もいたが、燃料不足のため赤十字で手当てできず、数名が命を落とした。現地のサレジオ会員は避難民を支えるために奮闘し、サレジオ会宣教事務局もチャベス総長の要請を受けて緊急支援に動き出し、医薬品などを発送した。

UNICEFによると避難民は推計48万人に達している（人口450万人）。その後、フランスの治安部隊が入り、武装勢力の武装解除を始めている。

避難民の中には悲惨な体験から逃がれてきた人も多い。ある若い父親は、妻と妻の妹、上の子どもたちが殺害されているのを発見、末の子どもを連れて逃げてきた。悲惨さの中で、若者たちの強い信仰は希望を与える。「若者たちは対話したり平和のために祈らなければ。平和のためのフォーラムを開くこともできる」とベルナルは言う。「苦しみはもつたくさん。復讐や分裂の思いを心から追い出して、キリスト者もムスリムも一緒に生きていく道を求めなければ」とオデイルも語った。12月8日には、避難民の人々のため、無原罪の聖マリアの祭日のミサが祝われた。いくつかのNGOや世界食糧計画(WFP)などからも救援物資

たバスのすぐそばに迫撃砲が撃ち込まれたこともありました。家族、友人、近所の人など、皆、誰かを亡くしています。このような状況にあつて、『神様がいるなら、なぜこんなことをやるの?』と問う人もいますが、長くオラトリオに通っていて以前は遊んでいるだけだった子どもがやって来て、「神父様、わかったよ。変わらないのは神様だけだよ」と言います。若者たちの信仰は深まり、福音に立ち帰っています。」

イタリア

ドン・ボスコ生誕200周年期間中、聖骸布公開へ

2013年12月5日、イタリア・トリノ教区はドン・ボスコ生誕200周年に合わせ、2015年春に聖骸布の特別公開を行うと発表した。聖骸布は、十字架上で亡くなったイエス・キリストの遺体を包んだと伝えられる麻布。発表を行ったトリノのノシリア大司教は次のように語った。「先ごろ、聖ヨハネ・ボスコ生誕200周年の祝いの一環としての聖骸布の公開について、教皇の賛同がバチカン国務省より伝えられました。若者の父・師であるドン・ボスコの実り豊かなカリスマ（奉仕するために神から与えられる賜物）の重要性は現代ます

が届きは始めている。

イタリア

ドン・ボスコ聖遺物、帰途につく

2009年のサレジオ会創立150周年に始まったドン・ボスコ聖遺物の世界巡礼、ドン・ボスコの旅はいよいよ最終章に入った。2013年9月末からイタリア中・南部を巡り北イタリアへ、12月中旬、ピエモンテに入ったドン・ボスコは、クリスマスにサレジアン・シスターズの共同創立者マリヤ・ドメニカ・マザレロの故郷モルネーゼ、その後、キエリ、故郷のベッキ村、カステルヌオヴォ、マンマ・マルゲリータの故郷カプリリオなど、ゆかりの地を巡った。2014年1月29日、トリノに入り、リジーナ・マルゲリータ子ども病院やサンタ・アルナ産婦人科病院を訪れ、30日の聖人の祝日前夜、扶助者聖母大聖堂に帰り着く。



ヴェニスに到着したドン・ボスコ



ドン・ボスコと聖骸布

ます高まり、全教会に一致して行われるサレジオ家族の奉仕によって引き継がれています。」トリノ教区とサレジオ会からの招待を受け、聖骸布が公開される200周年の期間中、教皇フランシスコがトリノを訪問する可能性も高まった。2015年は同時期にミラノ万博も開催され、イタリア内外から北イタリアを訪れる人々がキリストと出会う機会になるかもしれない。

中央アフリカ

サレジオ会センター、2万人の避難民を庇護

南スーダンやカメルーンなど国境を接する中央アフリカ共和国は1993年に民主的選挙が行われたが、96年以降、度重なる反乱やクーデターに見舞われた。2007年から2012年にかけて、政府・反



サンテラモにて



シチリアにて



福者マッダレーナ・モラーノ(奥)とドン・ボスコ

「お母さんですよ」

文・ノゾエ征爾 絵・おむらまりこ

「陽一。こんにちは。お母さんです。結婚、おめでとうございます。そして、陽一の奥さんになってくださる方、どうもありがとうございます。ご結婚、心より、おめでとうございます。」

晴れやかな席に、こんな格好でごめんなさい。でも、無理言って、お化粧だけはしたのよ。許してくださいね…。」

僕はその日、友人の結婚披露宴で、一本のビデオレターを見た。ビデオの中の女の人は、病室のベッドに、やっこの様子で腰かけていた。弱弱しい声で、でも力強く、絞り出すように、話していた。

「陽一は今何歳ですか？ お母さんは今29歳です。もしかしたらもう、お母さんより年上なのかもしれませんね。でも、お母さんは永遠に陽一のお母さんです。このビデオの中の陽一は、1歳を迎えたばかりです。とってもかわいいです。歯がちよこちよこ生えてきました。でも、髪の毛はずっと薄くて、まだあまり生えていません。その後、髪の毛は無事生えましたか？ 禿^はげてはいませんか？ た

とえ禿げていたとしても、健康に過ごせているなら、それ以上のことはありません。健康に勝るものではありません。」

お母さんは、残念ながら、長く生きることができませんでした。陽一がお腹に誕生した時に、お母さんの病気がわかりました。お腹に赤ちゃんがいると、薬も投入できないから、お医者さんには赤ちゃんを諦^{あきら}めた方がいいと言われてました。母子共に助からない可能性があったからです。皆、私の命が大事だと言いました。

でもね、陽一、お母さんね、あなたを産みたかったの。せっかくできた命だもの。お母さんとお父さんからできた輝かしい命だもの。すっごく大変だったけどね、お母さん頑張った。お父さんも頑張った。そして陽一も本当によく頑張ってくれた。陽一、生まれてきてくれて、ありがとうございます。どうもありがとう。

お母さんね、陽一さえ産めたら思い残すことはないと思ってた。こんな体だから、産めたらそれで十分だと思ってた。でもね、生まれた、生まれたてのしわくちなな陽一の顔を見てたらね、やっぱり

い。簡単に、離婚なんてしないでね。あの程度は、我慢、してね。そして、たまにでいいから、お父さんのことも、気にかけてあげてください…寂しんぼだから（笑）…。

お母さんは、とっても、幸せでした。そして、お母さんは、今もみんなのそばで、幸せにしています。バイバイ。お母さんでした…。」

り生きたいと思った。一緒に生きたいと思った。お父さんと陽一と三人で、たくさんたくさん生きたいと思った。そしたらね、もう余命宣告より、一年も長く生きてるのよ。すごいでしょ。

楽しかったあ。この一年、すごく楽しかった。毎日毎日がね、本当に楽しかった。陽一の顔をずっと見てたよ。ずーっと見てた。

はじめて喋^{しゃべ}る言葉は何かな。いつ歩き出すかな。滑り台から落ちて骨折とかしないかな。将来は何になりたいと言うのかな。大病を患^わわないかな。お父さんをたくさん困らせるんだろな。お父さんは育児ノイローゼにならないかな。日本は無事かな。どんな子を好きになるのかな。モテるかな。スケベ野郎にならないかな。苛^{いら}められないかな。苛めないかな。未成年で煙草とか吸うのかな。お父さんと殴り合ったりするのかな…。

私も一緒に殴り合いたかったなあ…。陽一、これまで、色々大変だったでしょ。傍^{そば}にいてあげられなくてごめんね。お母さんもね、強い人間ではないから、色々辛かったよ。大人になるまでも、

陽一は、人目をばからず泣きじゃくっていた。走り回っていた子供の一人が、陽一に向かってハゲッ！と言いつつ放った。陽一は、テカテカの頭でさらに泣いた。泣きながら爆笑するお嫁さんを見て、二人の門出に立ち会えたことを、心の底から嬉しく感じた。



嵐の中にいるような気分なのかい？

聖母に話しかけてごらん。聖母は海の星だから。

ドン・ボスコの言葉 ～『心が強く優しくなるドン・ボスコのこぼれ話』P.84～

せいじ
ノゾエ征爾

サレジオ学院中学校・高等学校卒業。脚本家、演出家、俳優。大学在学中より劇団「はえぎわ」を主宰。2012年『〇〇トアル風景』で岸田國士戯曲賞受賞。舞台、映画、テレビ、ラジオ等で活躍中。www.haegiwa.net

おむらまりこ

目黒星美学園小学校 図工科教諭。武蔵野美術大学大学院修了。絵本に『はいいろのこひつじ』『たいせつなおくりもの』『ヨハネ・ボスコのたいせつなゆめ』『クリスマス マリアさまからのプレゼント』。イラストに『森本千絵うたう作品集』。



幼稚園児たちは、自然の中でのびのびと遊ぶ



小学校学習発表会（4年生の英語劇）



中学・高校一貫で行事やクラブに取り組む



短大のサークル「マリア救援隊」の募金活動
（全額「国境なき医師団」などへ寄付）



「テアトロ・SEIBI」終了後、学生と園児のタッチ

共に喜び、共に生きる

東京都北区赤羽台

星美学園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学）



小学校の先生と児童たち



3.11の東日本大震災の後、一日も早い復興を願って横断幕を作り、屋上に掲げました。そして全校児童の献金を被災地に届けました。特に大船渡北小学校や老人ホームを訪問して、聖歌隊がコーラスを歌い、今でも交流が続いています

マリア様に見守られて

正門を入ると、マリア様が迎えてくださいます。マリア様は学園で学ぶ一人ひとりを見守り、学園が困難に直面したときにも見守り、助けてくださいました。

開校記念日の5月24日には、星美学園挙げての聖母行列が盛大に行われます。

幼・小・中・高・短大・同窓生・保護者（約2500人）



行列の前、大聖堂前でマリア様に花を捧げる

が心を合わせて聖歌を歌いながらマリア様を讃え、感謝の祈りを捧げます。

「共に喜び、共に生きる」

このモットーは、設立母体であるサレジオン・シスターズの創立者聖ドン・ボスコの教育の根幹であり、学園の教職員は年間を通してドン・ボスコの教育法を研究し、明るく楽しい雰囲気の中で生徒の全人間教育を目指して努力しています。

短大は、ベリアッティ初代学長がサレジオン・シスターズ来日30周年を記念して、女性の育成のために家政科を創立したのが始まりです。後に時代のニーズに応じて改変し、学生たちは3年間で幼稚園教諭、保育士、特別支援学校教諭の国家資格が得られます。

学園内には、幼稚園と養護施設があるので、日常的に幼児と触れ合うことができ、「テアトロ・SEIBI」には全園児を招いて、学生と園児が一体となって楽しいひとときを過ごしています。

幼稚園の裏には、古墳群の発掘された森があり、恵まれた自然環境の中で園児たちは体も心も健やかに成長し、命あるすべてのものと関わり、神様、マリア様に祈り、自分から進んで行動する気持ちを育てるようにしています。ある年輩の卒園生は、「幼稚園で聞いたドン・ボスコの話は一生忘れない」と語ってくれました。

小学校では、朝礼前からグラウンドで朝練をしている子どもと先生が駆け回り、

星美学園のルーツ

サレジオ会チマッティ神父の要請により、昭和4年サレジオン・シスターズ6名が宮崎に到着。来日10周年を記念して上京し、寄付を募って三河島に園舎を建て、保育所やオラトリオ、学習塾を始めました。美しく清らかなマリア様を保護者と仰ぎ、園の名称を「美しい星」星美」と決め、昭和15年に星美学園が誕生しました。昭和16年、太平洋戦争が勃発。昭和18年から児童たちは静岡や山中湖村に疎開。昭和20年3月の東京大空襲では星美学園の園舎が全焼してしまいました。そして、——昭和20年8月終戦。

赤羽台に星美学園（総合学園）を開校

昭和22年から55年まで33年かけて教育環境が整えられた矢先に、新幹線問題が発生。星美学園の土地は公園にする計画が立てられていたようですが、ドン・ボスコの精神で子どもたちを教育する学園を継続するために必死で交渉し、新幹線が地下を通る日本唯一の学園となりました。また、国内唯一のイタリア系の短大をもつ総合学園でもあります。

校内から聞こえる澄み切ったコーラスの声など、学校全体にドン・ボスコの精神が活き活きと展開されています。

1年を通して行われる学校行事の一つひとつを先生と子どもたちが一緒になって精一杯発表している姿に、感動せずにはいられないパワーを受けます。

被災地へのボランティア活動、おにぎり献金、お手伝い献金など、共に助け合うことの大切さを体験しています。

中学・高校では「アカバナからセカイへ」のキャッチフレーズの下、ドン・ボスコがイタリアだけにとどまらず、世界に向かって宣教師を派遣したように、日本だけにとどまらず、韓国、香港、フィリピン、ヨーロッパの姉妹校と交流して世界を変えていく、聡明でたくましい女性を社会に送り出したと「星美スターディー・サポート・プログラム」を実施しています。

（文・写真／星美学園提供）



星美学園
（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学）
東京都北区赤羽台4-2-14
www.jsh.seibiac.jp



ミサの侍者をする子どもたちと一緒に

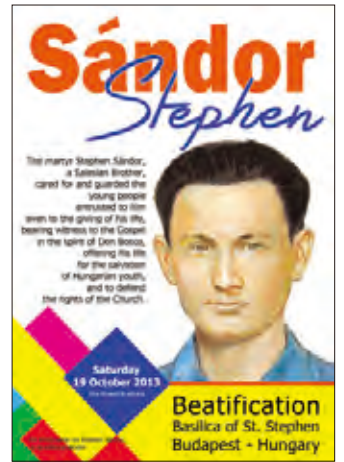
1949年10月9日、ハンガリーのサレジオ会ブラザーたちと。
一番左上がステファン

2013年10月19日、ハンガリーの首都ブダペスト、聖ステファノ大聖堂前の美しい広場に、60年前39歳の若さで信仰に殉じたサレジオ会修道士、ステファン・サンドルの列福を祝うため、8,000人が集まりました。

文・写真 ●サレジオ会編



ハンガリーの若きサレジオ会修道士
ステファン・サンドル
列福



若者のために最後まで

してお父さんが神のみ旨にしたがつて生活され、私たち皆が永遠の幸いに至り、いつまでも神を礼拝することができまうように。……私が神に愛され、み心に深く帰依する修道者となるよう、お祈りください。」(1938年)

サレジオ会修道士として

1946年に終生誓願を立てたステファンは、1948年には印刷部門の責任者に任命され、人間的・宗教的成長にも心をかけつつ、熱心に生徒を指導しました。優れた技能を身に付けた生徒たちは、ハンガリーでも一流の印刷会社就職することができました。ある友人が語っています。「彼はとても情熱があり、若者に対する深い理解がありました。若者たちの問題を知り、前向きなメッセージで共に歩み、困難な状況にあっても粘り強く、くじけずに仕事に取り組むよう導きました。彼はいつも理想に忠実な本物のサレジオ会員でした。」

信仰深い好青年

ステファン・サンドルは、1914年10月26日、ハンガリーの中央部に位置するソルノクという町の素朴で信心深い両親のもとに生まれました。父は国鉄職員、母は主婦という一般的な家庭で、父はステファンら3人の息子たちを日曜日毎に教会へ連れて行き、信仰、祖国への愛、家族への愛を教えました。

ステファンは国内で配布されていたサレジオ会会報誌(ハンガリー版ドン・ボスコの風)を通して、ドン・ボスコとサレジオ会の霊性に出会い、引きつけられました。サレジオ会に入りたいという望みを抱き、霊的指導者と両親に話しました。両親は初めは許し



サンドル一家。右奥がステファン

しかし、希望に満ちたステファンの前には恐ろしい時代が待っていました。スターリン主義の影響を受けたラウコシ・マーチャーシュ共産党書記長による恐怖政治が始まると、1949年には教会が資産を没収され、カトリック学校は弾圧を受け始めました。政府に反対する者2000人以上が処刑、10万人が刑務所へ、20万人が国外追放されました。共産主義イデオロギーが学校に持ち込まれ、宗教教育は廃止され、独立した「カトリック教会」が創設されるなど、混乱した時代でした。

そのような時代の流れの中でハンガリーのサレジオ会は、ほぼ一夜にしてすべてを失い、解散させられました。それでもステファンは、国内にとどまってハンガリーの若者のために働き続けました。ブダペストで洗剤工場に職を見つけ、厳しく禁じられていた宗教活動を密かに続けていました。

1952年7月、ステファンは、情報を聞きつけた秘密警察によって職場で拘束されてしまいます。そして1953年6月8日、絞首刑により殉教しました。

信・望・愛を証ししたステファン

教皇フランシスコは、使徒的書簡の中で、福者ステファン・サンドルについ



幼いころのステファン

せんでしたが、最後には息子の望みを受け入れ、ステファンは1936年ブダペストのサレジオ志願院に入り、2年間の志願期の後、ドン・ボスコ印刷所の印刷技術コースで学びました。ここには他に、出版社や全寮制の印刷技術学校、教会があり、1950年に国中の修道会がすべて解散させられるまで、ハンガリーにおけるサレジオ会の活動の中心でした。

両親に宛てた手紙(抜粋)

「愛するお父さん、……ただ一人の息子であるかのように私を愛してくださいましたね。あの待降節の日、志願院に入る許可の手紙にお父さんが署名をするとき、一方では別離の悲しみ、もう一方では私への愛のため、私の幸せを願って犠牲をささげる用意のあることがはつきり見て取れました。……犠牲の痛みが大きいほど、神様にとっては尊いものとなります。」

お父さんの犠牲は、アブラハムの犠牲(創世記22:1-19参照)にも似たものです。……お父さんの手に接吻します、多くの労働に耐えた手を、そ

て「ドン・ボスコの慈愛の教育に倣い、若者の教育者・カテキスタ(カトリック要理の教師)として素晴らしい模範となった」と語っています。また、教皇庁列聖省長官アマート枢機卿は、列福式の中で「信仰への迫害は人々の間に深い溝を作り出します。しかし殉教者たちはその犠牲によって、兄弟愛、ゆるし、受容の橋を築きます。……奉献生活は、実に白い殉教(血を流さずに命をささげること)です。日々、福音と修道会のカリスマ(神からの賜物)への忠実を生きるものです。英雄的な行為は、即興でできることではありません」と語りました。

ステファン・サンドルは、殉教によって、献身的な教育者の姿、そして信仰・希望・愛の最高の証しを私たちに示してくれたのです。

【列福 れっぶく】

カトリック教会が公式に、模範的な信者を「福者」の位に列すること。列聖(聖人の位に列すること)の一つ前の段階。

【修道士 しゅうどうし】

ミサなどの秘跡を執り行う司祭と役割が異なり、専門的技能をもって社会や修道会内で働きつつ奉献生活を送る人たちのこと。修道女(シスター)に対して修道士(ブラザー)と呼ばれる。



ありがとう！山口哲郎神父 サレジオ会員の 誇りを胸に

徴兵されて満州で終戦を迎え、シベリア抑留という過酷な体験を経て、司祭となった山口哲郎神父。司祭として生きた58年は、第二の父と慕うチマッティ師の「将来に目を向け、善いわざに励みなさい」という言葉と聖マリアへの篤い信心によって支えられていた。



いつもお茶を飲みながら、人生や信仰について語り合っていた

●チマッティ師を父と慕い

2013年2月20日、激動の時代を生き抜いた一人の日本人サレジオ会員が天に召された。享年92歳。山口神父は1921年、長崎の浦上に生まれた。幼くして父を亡くした哲郎少年は13歳で宮崎のサレジオ会志願院に入り、第二の父、チマッティ師と出合い、生涯この父と共にいようと決心する。この父への信頼を深めたエピソードがある。志願生たちがオペレッタ「マルコ漁師」を上演したときのこと、哲郎も重要な役を割り当てられたが、本番で緊張してせりふをすっかり忘れ、沈黙のまま芝居は喜劇に終わった。失望させ、叱られると思いきや、チマッティ師は何事もなかったかのように変わらない慈しみを注いでくれたのだった。こうした志願院での喜びあふれる落ち着いた雰囲気の中、サレジオ会員として歩み始めていた。

●シベリア抑留を経て司祭へ

戦争は修道院にも暗い影を落とした。山口神学生は1941年に誓願を立てた翌年、徴兵、満州で終戦を迎える。4年半に及ぶシベリア抑留を体験、語学ができたため捕虜の代表となり、仲間のために苦勞を背負った。地獄のような日々が終わり復員した山口神学生は、修道院に戻る勇気がなかったそうである。故郷の大浦天主堂の聖母像の前で祈っていたとき、幼なじみの神父に再会し、チマッティ師が待っているとの伝言を受ける。ようやく修道会に戻った山口神学生は、「過去を振り返ってはいけません、将来に目を向け、善いわざにはげみなさい」という師の言葉に支えられ、年下の神学生たちの中で勉強を再開した。



ヨセフ 山口哲郎

サレジオ会司祭。1921年長崎市生まれ。1955年司祭叙階。1956年より中津聖ヨゼフ寮を始め、1973年まで長く大分教区にて司牧。大阪・天王寺教会主任・聴罪司祭を経て、2013年2月、大阪にて92歳で帰天。

1955年に司祭に叙階された山口神父は、いつも貧しい人、困っている人の側に立ち、独特の魅力によって、58年に及ぶ司祭生活で出会った多くの人びとに慕われた。サレジオ会志願生や地域的女子修道会のため、深い霊性をもった聴罪司祭として奉仕した。苦難の体験に深められた熱い聖母信心をもつ山口神父は、「司祭のマリア運動」の会員としてチェナクルム（祈りの集）の世話をし、会報のために執筆した。

（文／サレジオ会）

もっと キミに伝え隊!!



サレジオンが心を込めて贈る
あなたへ応援メッセージ

あなたはそのまま愛されています

「変わらないでいいよ♪…
そのままの君が好きだから♪」

今回の応援隊員

古木・涼子

ふるきりょうこ

イエスのカリタス修道女会



福岡県出身。1986年初誓願、92年から12年間フィリピンに派遣される。現在はローマの総本部所属。作詞作曲した「いのち」をめぐる物語をまとめた『まだ見えなくてもあなたの道は必ずある』（青春出版社）が昨年話題に。

子どもたちは大人や周りの評価で自分を見えています。それがネガティブなものばかりだったら、自分をネガティブに見てしまいます。そして親や先生から「もつとがんばれ」と言われ続け、「もつといい子にならないれば愛されない」という条件付きの愛に閉じ込められ、「私は愛されるような人間じゃない」と思っています。いいえ違います。がんばらな

子どもたちは大人や周りの評価で自分を見えています。それがネガティブなものばかりだったら、自分をネガティブに見てしまいます。そして親や先生から「もつとがんばれ」と言われ続け、「もつといい子にならないれば愛されない」という条件付きの愛に閉じ込められ、「私は愛されるような人間じゃない」と思っています。いいえ違います。がんばらな

くても、変わらなくても、あなたはそのまま愛される価値があるんですよ。それに気づいてほしいです。大人の反応とかを気にしないでもつと自信を持つてください。いろんな欠点とか、足りないところとかあるかもしれないけど、そのままでも愛されているのです。あなたを愛している人がいます。ただそれに気づいていないだけかもしれません。仮に周りにそういう人がいなかったとしても、神さまが愛しているのです。かつてフィリピンにいたときに

私には行き詰まってしまい、もうどうでもいいと思うようになりました。ある日のこと、こんなことを言われました。「変わらないでいいよ。そのままの君が好きだから」この言葉は、心地よい音楽のように私の耳に響きました。「変わらないでいいよ」変わらないでいいよ、変わらないでいいよ、そのままの君が好きだから♪」肩の力が抜けて、こころが軽くなりました。生き返ったように感じました。そして、私は変わったのです。今、私にはわかります。自分が変わらなくても愛してくれる誰かを見つけたときに、私は変わることができたのだと。

昨年国内で話題の著書となった『まだ見えなくてもあなたの道は必ずある』青春出版社より絶賛発売中!「いのち」他10曲が収録されたCD付。



サレジオ同窓会日本連合 横浜で初代会

2013年8月10日、サレジオ同窓会日本連合の会合が新横浜プリンスホテルにて行われた。サレジオ専攻（育英高専）、日向学院、大阪星光学院、サレジオ学院、サレジオ小・中学校の各同窓会役員（または同窓生代表）と各学校長、サレジオ教会青年会の同窓生代表ら18人が出席し交流・親睦を深めた。この会合は、2013年2月にタイで行われた「サレジオ同窓会世界連合アジア・オーストラリア地域大会」にて、各国の同窓会連合で若者の支援活動を立ち上げ、同窓生の連帯を深め共に課題に取り組むネットワークを構築するようにとの決議を受けて開催されたもの。日本のサレジオ同窓生の数は3万人を超える。

まず、サレジオ会日本管区長のチプリアニ神父が、同窓会日本連合の結成を望んでいた故ヘンドリックス神父の帰天からちょうど1年にあたることを紹介。今回の会合で互いに知り合い、各同窓会の現状を分かち合いながら、日本におけるサレジオ同窓会の横のつながりを作ること、また2015年のドン・ボスコ生誕200周年に向けて共に何ができるか検討したいと呼びかけた。

続いて、自己紹介をしながら各同窓会・各校の報告が行われた。各学校長からは、各校の取り組みのほか、同窓会が物心両面で現役生を手厚く支援し

ていることに感謝の念が伝えられた。学校の設備拡張、奨学金支援、部合宿の手伝い、進路ガイダンス・講演、就職支援など、各校での同窓生と現役生の交流が紹介された。



サレジオ同窓会日本連合 会合の様子



懇親会で各校の校歌を披露

また、各同窓会からは、現役生の支援のほか、総会・懇親会など会員の交流、職業別グループでの交流、会報・ホームページでの広報、文化祭への出展・協賛、追悼ミサ開催など、多様な活動が紹介された。今後同窓会を組織する必要がある学校・団体もあり、所在地が移転したり男女共学化した学校では、世代間の交流や男女共同参画などの課題も挙げられた。

2013年2月の「同窓会世界連合アジア・オーストラリア地域大会」の報告をふまえ、今後サレジオの世界的なつながりに加わりつつ、国内の同窓会が連携・協力しながら活動できるように、日本の同窓会連合を組織することとで合意。正式な組織発足に向けて事務局を東京・四谷のサレジオ会日本管区本部に置き、規約の素案作成や今後の活動内容について検討することになった。

サレジオ同窓会世界連合では、同窓生を「ドン・ボスコの教育を受けた者」と定義しており、今後は学校の同窓生だけでなく、教会学校や福祉施設等の同窓生も含めたつながりを目指すことも視野に入れている。

今後の検討課題として、ドン・ボスコ生誕200周年記念行事のほか、本誌「ドン・ボスコの風」を同窓生のつながりを強めるツールとして活用していくこと、若者たちの支援活動の可能性、同窓会世界連合の大会への参加などについて意見が交わされた。

会合終了後は懇親会を開催。各校の

校歌を同窓生と校長と一緒に披露したい、全員で「聖者ドン・ボスコ」を歌うなど、和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めた。サレジオ同窓会日本連合の今後の展開への希望を分かち合いつつ閉会した。

DBVGが今年も ソロモンに7名を派遣

2013年8月17日～9月7日、ドン・ボスコ海外ボランティアグループ（DBVG）は7人の青年をソロモン諸島に派遣した。現地のサレジオ会が担当するテレレ小教区と農業学校（ルラル・トレーニングセンター・RTC）を拠点に学生たちとの交わりや文化交流を行い、また現地シスター修道院のチャペル改修工事に従事した。青年たちは慣れない作業に苦労しながらも現



テレレの空港にて

地の人々と一緒に汗を流し活動を分かち合うことで海外ボランティアの体験をより深めることができた。今回はRTCで初めての同窓会が行われ卒業生たちが集まった。テレレ共同体とDBVGの関わりは深く、これまで多くの若者たちが派遣され学校の建設作業などに携わっていることもあり、今年のメンバーも多くの卒業生、スタッフから歓迎され、DBVGがこれまで築いて

いた貢献を改めて感じる機会となった。来年はRTC10周年が予定されている。

サレジオ中学校バレー部、 全国大会準優勝！

2005年には全国優勝したこともあるサレジオ中学校（東京都小平市、在校生72名の男子校）バレーボール部が、2013年8月18日～21日、猛暑



大会での一コマ

の中開催された第43回全国中学校バレーボール選手権大会（会場／愛知県岡崎市）で、全国の代表36校で争われる中、準優勝を勝ち取った。7月25日の東京都内決勝リーグでは、駿台学園中学校、淵江中学校に続いて出場、関東大会では駿台学園中学校とサレジオ中学校の2校で決勝進出を果たした。本大会決勝では駿台学園中学校と再び対決、スタメン選手6名中、3名が身長160cm台と小柄なサレジオチーム、身長の大きな駿台学園中学校に果敢に挑んだが、惜しくも敗れ、準優勝となった。

イエスのカリタス修道女会 第15回総会が終了

2013年9月30日から10月31日までの1か月間、大分県の亀川修道院にてイエスのカリタス修道女会第15回総会が行われた。2004年の第12回総会から着手された会憲・会則の改定作業がこの度の総会でほぼ終了し、参加者たちは大きな喜びに満たされた。

総本部のあるイタリア、そして日本、韓国、ブラジル、ペルー、ボリビアから集まったシスターたちは、それぞれの国の実情を分かち合いながら、互いの理解を深め、それらを考慮に入れたより普遍的な会憲・会則となるよう努め、その努力と思いやりによって、互いの友情を深めた。

週末はリラックスタイムとして夕食後に30分ほど、各管区や自発的に結成



閉会ミサを司式したサレジオ会日本管区長チプリアニ神父と共に

された有志グループによる歌や踊り、ゲームなどを通して、家族的な交わりの時を過ごした。「あたりまえ体操総会議バージョン」も誕生し、遅ればせながら、ちよつとしたブームに。

シスター方からサレジオ家族への感謝のメッセージが届いている。「総会議中はサレジオ会をはじめ、サレジオ家族の皆様の熱い祈りを感じることができました。心より感謝申し上げます！」

星美ホーム児童・職員による 文化等の披露

2013年11月に開催された恒例の関東近県合同児童養護施設文化祭（第2回子どもキラット！楽演祭）で、星美ホーム（東京・赤羽）の小学生から高校生までの14名の子どもたちと3名

の職員による文化等（従来の筆の1／2サイズ）の演奏が好評を博した。その後も練習に励み、施設内で12月に披露されたクリスマス聖劇で日本伝統の美しい音色を響かせたとのこと。

ある職員は「音楽は心からの喜ばしい一致を生み出す」とドン・ボスコが言われたように、子どもたちにとって演奏会を目標に練習を続けることは、一つのことをやり遂げるための努力や、集団の中で協調することを学び、同時に喜びや楽しさを体験し、自信や自己肯定感を強めるよい機会となっている」と語る。



第2回子どもキラット楽演祭での演奏の様子

PRESENT ドン・ボスコの風 読者プレゼント

応募方法：

お名前(フルネーム)・住所・年齢・ご職業とご希望のプレゼント (A・B・C) いずれか一つを明記し、本誌のご感想・ご要望をお書き添えの上、Eメールまたはハガキで下記宛先までお送りください。

【Eメールの場合】

DB-no-kaze@donboscojp.org

【ハガキの場合】

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-9-7 ドン・ボスコ社内

「ドン・ボスコの風」編集事務局

応募締切：2014年3月31日消印有効

当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
ご応募いただいた方の個人情報は賞品の発送のみに使用し、その他には一切使用致しません。

A いつでも共にいてくれる イエスの ことば100



青少年の心に、生きたイエスのリアルな姿が伝わることばを厳選して分かりやすく解説。キリスト教に初めてふれる人にもおすすめ。

サレジオ会日本管区編
浦田慎二郎監修
文庫判並製 207頁

5名様

B フランシスコ・サレ ジオと共に歩む 神への道のり



「カトリック生活」人気連載を加筆・修正、新書判に。聖フランシスコ・サレジオの霊性から日常を神に向けるヒントが満載。黙想の手引きに最適。

浦田慎二郎著
新書判並製 237頁

5名様

C 扶助者聖マリア キーホルダー



トリノの扶助者聖マリア大聖堂の聖母子画をはじめ込んだ、存在感のあるキーホルダー。いつも扶助者聖マリアのご保護を思い起こして携帯しよう。

イタリア製
メダル部分 44×33mm

5名様

(いずれもドン・ボスコ社提供 www.donboscosha.com)

from the Editor 編集後記

聖母マリアは全ての人々の母です。小さい時から聖母に導かれた聖ヨハネ・ボスコは、神父になって神さまから与えられた使命を果たすため、トリノの街に「扶助者聖マリア大聖堂」を1868年に献堂しました。その2年後、多くの人々が聖母の助けを知り、証しするための「扶助者聖マリアの会」(ADMA)を設立しました。ドン・ボスコにとって導き手である聖母マリアゆかりの場所や歴史を紹介することで、ますます皆さまの聖母への信頼が深まることを願ってやみません。そして共に「扶助者聖マリア、わたしたちのために祈りください」と祈りましょう。(M)

ドン・ボスコの風 No. 12

SALESIAN BULLETIN JAPAN January 2014
2014年1月31日発行 (年2回発行)

編集人 山野内 倫昭
発行人 アルド・チブリアニ
発行所 カトリック・サレジオ修道会
「ドン・ボスコの風」編集事務局
〒160-0004
東京都新宿区四谷1-9-7
ドン・ボスコ社内
電話：03-3351-7041
Fax：03-3351-7042
Eメール：DB-no-kaze@donboscojp.org

編集・デザイン制作 ドン・ボスコ社
印刷所 日之出印刷株式会社

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。
© カトリック・サレジオ修道会 2014

次号No.13は2014年7月発行予定です。「ドン・ボスコの風」バックナンバーは、サレジオ会ホームページ <http://salesians.jp> でご覧いただけます。
トップページの「ライブラリー」→「ドン・ボスコの風」

こころの教育者ドン・ボスコの 「ローマからの手紙」

「若者が愛されていると感じるように、愛してください」



サレジオ会日本管区編
浦田慎二郎 改訂監修
四六判並製 60頁
定価(本体200円＋税)

教育者ドン・ボスコの「ローマからの手紙」全文。この中には彼の教育理念のエッセンスが詰まっています。実践的に理解するための「読み解きガイド」収載。学校・家庭・職場で、教育に関わるすべての人にお薦めです。

いつもよいものを――

ドン・ボスコ社 ネットショップ www.donboscosha.com/

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9-7 TEL. 03-3351-7041 FAX. 03-3351-5430

Info

お知らせ



左からチブリアニ管区長、新司祭のお母さん、岡本新司祭、新司祭のお父さん



岡本大二郎新司祭

2013年9月14日、東京のカトリック下井草教会にて、岡田武夫大司教の司式により、フランシスコ・サレジオ岡本大二郎の司祭叙階式が行われた。多くの参列者で聖堂はいっぱいになり、全員で新司祭誕生の喜びを共にした。岡本新司祭はいさつるなかで、「人々の渴きをいやすのはイエス様。私はイエス様から頂いた水を皆さんに運ぶ役を果たしていきたいと思います」と語った。このとき配布された叙階記念誌「よるこび Vol.21」はサレジオ会日本管区公式サイト <http://salesians.jp> (トップページ右上の検索窓で「よるこび」で検索) より閲覧できる。

サレジオ会・岡本大二郎新司祭誕生！

ドン・ボスコ生誕200周年記念 サレジアニ・コオペラトリーによる 企画旅行のお知らせ

ドン・ボスコ ゆかりの地を訪ねて 10日間

どなたでもご参加いただけます。

ぜひあなたもドン・ボスコ生誕200周年のお祝いムード満点の

イタリアで、ドン・ボスコの足跡を辿ってみませんか。



写真：コッレ・ドン・ボスコ周辺の田園風景



写真：ローマ／バチカン
サン・ピエトロ大聖堂

旅行日程／2014年9月11日(木)～20日(土)

旅行代金／336,000円～369,000円
(参加人数によって変更があります) ●一人部屋追加料金／75,000円

※成田空港施設使用料、現地空港諸税、運送機関の課す付加運賃・料金(燃油サーチャージ等)が別途かかります。

お申込締切日／2014年7月10日(木)

お申し込み・お問い合わせは下記まで

株式会社 ステラ コーポレーション

東京都知事登録旅行業 第3-4308 社団法人 日本旅行業協会正会員
TEL. 03-3407-1218 FAX. 03-3407-1582 E-mail info@stella-corp.co.jp/
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-12-12 宮益坂東豊エースタートビル303
営業時間／平日10:00～18:00
営業所長／小池俊子 総合旅行業務取扱管理者／中村典子

団 長／ロロピアナ・アキレ神父(カトリック碑文谷教会)
添乗員／全行程同行

旅行日程		ツアーNo.1902				
	月日	都市名	交通機関	摘要	食事条件	朝 昼 夜
1	9月11日(木)	成田発 ミラノ着 トリノ	航空機 専用バス	直行便またはヨーロッパ(経由ミラノへ) (トリノ泊)		機
2	9月12日(金)	トリノ	専用バス	ヴァルドッコ(扶助者聖マリア大聖堂)、アッジジの聖フランシスコ教会、コンソラータ、ドゥオーモなど (トリノ泊)	○	○
3	9月13日(土)	トリノ アヌシー	専用バス	聖母訪問修道会のバシリカ、旧市街(聖フランシスコ・サレジオのゆかりの教会と修道会) (トリノ泊)	○	○
4	9月14日(日)	トリノ	専用バス	カステルヌオヴォ、モンドヴィ(聖ドメニコ・サヴィオの故郷)、キエリ周辺、モルネーゼ(マリア・マザルロの地)、コッレ・ドン・ボスコなど (トリノ泊)	○	○
5	9月15日(月)	トリノ ファエンツァ アッジジ	専用バス	チマッティ神父の故郷 聖フランシスコゆかりの地など (アッジジ泊)	○	○
6	9月16日(火)	アッジジ ローマ	専用バス	聖フランシスコ教会、サンタ・キアラ、サン・ダミアーノ、カルチエリなど サクロ・クオーレ (ローマ「サレジオ会サクロ・クオーレ」泊)	○	○
7	9月17日(水)	ローマ	専用バス	終日：ローマ 教皇謁見(予定)、サレジオ会本部訪問、トレビの泉、スベイン広場、ショッピングなど (ローマ泊)	○	○
8	9月18日(木)	ローマ	専用バス	終日：ローマ ヴァチカン・聖ピエトロ大聖堂、バチカン美術館、システィーナ礼拝堂、サンタ・マリア・マッジョーレ、カタコンベ・サン・カリストなど (ローマ泊)	○	○
9	9月19日(金)	ローマ ローマ発	専用バス 航空機	直行またはヨーロッパの都市経由 帰国の途へ (機内泊)	○	機
10	9月20日(土)	成田着	航空機	着後、解散		機

※航空機・航空機関などの事情により行程を変更する場合があります。予めご了承ください。



ドン・ボスコの生き方にならない 神さまの呼びかけに応えて歩もう

Da mihi animas, cetera tolle — 我に魂を与え、他のものは取り去りたまえ —

神の栄光と人々の救いのため

Strenna
2014

サレジオ家族年間目標

2014年のサレジオ家族のストレンナ（年間目標）は、2015年にドン・ボスコ生誕200周年を迎えるにあたり、ドン・ボスコの活動を支えたドン・ボスコの心、その生き方に学ぼうとするものです。ドン・ボスコの存在の中心には、神に深く結ばれて生きるいのちがありました。神は善き牧者キリストの愛をドン・ボスコの心に豊かに注ぎました。それは人々、特に若者を危険から救い、幸せへと教え導くために自分をささげて生きる愛であり、ドン・ボスコのモットー「Da mihi animas, cetera tolle 我に魂を与え、ほかは取り去りたまえ」に表れています。ドン・ボスコは、だれでも神の恵みに応え、協力して生きることができると言います。すべての人の幸せを願い、働くために、司祭、修道者、信徒、すべての人が、一人ひとり神様に呼ばれた道を歩むための恵みを受けることができるのです。

サレジオ会総長 パスクアル・チャーベス神父

2014 ストレンナ解説より

